

## ぶどうのカーテン取り組み情報



お名前	山梨市役所（山梨市）		
ぶどうの種類	ベリーAまたはスチューベン		
設置場所	庁舎東館1階 ロビー前		
カーテンの大きさ	高さ: 約 3.5 m, 幅: 約 14 m	取り組み年数	2年6ヶ月目

### 緑のカーテンの効果

ぶどうの苗は、今年の3月に庁舎中庭に移植する作業を行いました。4月には固い殻に覆われていたつぼみが次々に芽吹き、5月に入ると新芽が伸びてつるとなり支線に巻き付き、初夏から盛夏の頃には大きな葉に覆われるようになりました。ぶどうの葉は日差しを遮るだけでなく、葉の特徴である濃い緑色からは視覚的な癒し効果もあり、市役所を訪れる市民の方からも「山梨らしい緑のカーテンですね」とか「ぶどうの種類は何ですか？」など、皆さん興味を示されていました。

### 育てる際の工夫・苦労

3月の移植を行う前にぶどうの苗の剪定と、植え替える場所の土壌面に牛糞と腐葉土を入れて土づくりを行いました。水は土壌面が乾いたら散水する程度で、プランターで作る緑のカーテンに比べると散水回数は少なくすみしました。しかし7月に入ると雨が多く、日照不足だったこともありぶどうのつるは伸びなくなりました。8月は連日猛暑となり、つるは緑色から茶色に変わり固くなってしまいました。また大きい葉も所々虫食いや枯れ葉が見られるようになりました。もう少しつるが伸びて、葉が枯れなければ良かったかと思えます。

### 感想・楽しみ方など

今回はぶどうの葉で緑のカーテンを作製する目的だったため、ぶどうの実の収穫はありませんでした。ぶどうの苗で作る緑のカーテンについては、春先の剪定と肥料撒布、つるが伸びた時に支線への誘引作業を行うぐらいで、最初の準備段階が大変でしたが、あとは育てやすい植物だと思います。